

# 大学における研究データ管理・ 利活用のためのストレージ基盤

京都大学 情報環境機構

渥美 紀寿

京都大学



# 概要

- 研究データ利活用のためのストレージ基盤
  - 大学として提供すべき基盤はどのようなものか
- ストレージ基盤の現状と課題
  - ストレージ基盤の導入が進んでいる機関ではどのような状況か
- 研究データ管理・利活用システムについての現状と課題
  - ストレージ基盤を用いてどのように活用していくか

# 研究データ利活用のためのストレージ基盤

- ストレージ基盤の利用用途
  - 研究途中のデータ管理
  - 研究公正のための10年保存
  - オープンサイエンスのための公開
- それぞれの用途に適したストレージ基盤
  - 同期型, 非同期型
  - 共有方式 (アクセス制限 (学外者も含む))
  - オンプレミス型, クラウド型
  - 保存期間 (長期に渡るデータの維持, アクセスの維持)

# ストレージ基盤の現状と課題

- 基盤構築・維持のための予算確保
  - 長期間維持するための継続的な予算確保
- 研究者ごとに扱うデータ，研究環境の違いへの配慮
- アクセス制限
  - セキュリティ対策
  - 学外者の扱い
- 異動時の対応

# 研究データ管理・利活用システムについての現状と課題

- NII Research Data Cloud
  - GakuNin RDM (データ管理基盤)
  - JAIRO Cloud (データ公開基盤)
  - CiNii Research (データ検索基盤)
- 実際に利用してみてどうだったか
- その他のシステムの利用を検討しているか

# 京都大学の現状

- 研究データの管理・利活用を促進するための組織作り中
  - 予算確保の上、基盤整備の準備
- (研究用)ストレージ基盤
  - オンプレストレージサービス (Nextcloud) (試行中)
  - クラウドストレージサービス (OneDrive) (2023/03- 教職員,学生)
  - クラウドオブジェクトストレージサービス (Amazon S3) (試行中)
- データ管理基盤
  - GakuNin RDM を総長名で申請し、全学で試行利用
  - 十分な容量のストレージ基盤がまだ用意できていない
- データ公開基盤
  - KURENAI, 京都大学研究資源アーカイブ